平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ) 【卓ゼミ】			授業コード	E002632
担当教員名	卓　涓涓			科目ナンバリングコード	E31203
配当学年	3	開講期	通年		
必修・選択区分	必修	単位数	4		
履修上の注意または履修条件	わからない点などがあれば、その都度、質問してください。				
受講心得	予備知識は特に前提としませんが、積極的に取り組む姿勢が必要です。また、日頃から、日本経済新聞に目を通し、経済、金融に関する記事に触れておきます。 講義ではテキストの報告、新聞記事報告などを交代で行なうため、相応の時間をかけ、準備することが求められます。レポートを作成する時期には、グループごとにサブゼミを行ない、レポート作成に取り組んでもらいます。				
教科書	その都度紹介します。				
参考文献及び指定図書	その都度紹介します。				
関連科目	金融論、国際金融論				

授業の目的	金融論の基本的なテキストや入賞レポートをチーム(3～5名)で輪読することで、基礎的な知識を修得します。その後、修得した知識に基づいてレポートを作成することを通じ、文章表現能力、データの収集・加工・分析能力を修得し、さらに、チームでの作業となるため、協同作業をし、お互いにコミュニケーションできる能力を身に付けます。また、レポート作成に必要な業界研究、とりわけ、金融業界の研究を行なうことで、早期の段階から、キャリア意識を持って、就職活動に臨めるようにします。
授業の概要	日銀グランプリに参加するためのレポートを作成することを主な目的とします。ゼミでは、(1)日銀グランプリの入賞作品の輪読を通じて、金融論に関する基礎知識を修得すること、(2)日本経済新聞から経済に関する記事を一つ選び、その内容、選んだ理由、記事に対する意見を5分程度でプレゼンテーションすること、(3)金融論の知識を活かして、日銀グランプリに投稿するレポートを作成すること、(4)金融業界の研究やエントリー・シートの作成を行なうことの四つを行なっていきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション 日銀グランプリの概要や参加の流れなどについて説明します。	授業内容の復習と配布プリントによる予習を行ってください(1時間)。各自エントリー・シート(自己紹介文)を作成してください(2時間)。
第 2 週 ： 自己紹介 自己紹介を行ない、グループ決めを行ないます。	授業内容の復習と配布プリントによる予習を行ってください(1時間)。
第3週：　金融の役割(講義形式) 金融の基本的機能などについて講義形式で解説します。	授業内容を復習し、練習問題を解いておいてください(1時間)。練習問題の解答について、次の授業で解説します。
第 4 週 ： グループ学習①　過去の入賞レポートの先行研究	先行研究をまとめたレジュメを作成してください(4時

過去の入賞作品をサーベイし、レジュメを作成します。	間)。
第 5 週 : グループ学習② 過去の入賞レポートの先行研究 過去の入賞作品をサーベイし、レジュメを作成します。	先行研究をまとめたレジュメを作成してください(4時間)。
第 6 週 : 先行研究報告① 過去の入賞レポートの報告(2チーム) 入賞作品についてチームプレゼンテーションを行なった後、内容や形式などに関するディスカッションを実施します。	先行研究をまとめたレジュメを作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
第 7 週 : 先行研究報告② 過去の入賞レポートの報告(2チーム) 入賞作品についてチームプレゼンテーションを行なった後、内容や形式などに関するディスカッションを実施します。	先行研究をまとめたレジュメを作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
第 8 週 : テーマ設定のためのブレーン・ストーミング テーマの設定についてアイデアを出し合うブレイン・ストーミングを実施します。	報告資料を作成してください(4時間)。
第 9 週 : グループ学習③ テーマ設定 習得した知識を用いて、グループで興味あるテーマを探し出します。	報告資料を作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
第10週 : グループ学習④ 現状分析 設定したテーマ(目的と解決対象)について現状の事実を把握して、解決する上での重要問題を特定します。	報告資料を作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
第11週 : テーマ報告① 日銀グランプリのテーマの報告(2チーム) デーマについてチームプレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	報告資料を作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
第12週 : テーマ報告② 日銀グランプリのテーマの報告(2チーム) デーマについてチームプレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	報告資料を作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
第13週 : レポート構成報告 レポートの構成についてチームプレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	報告資料を作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントします。
第14週 : グループ学習⑤ レポート執筆	レポートを作成してください(4時間)。その内容について次の授業でコメントしま

投稿するレポートを作成します。	す。
第15週： レポート中間報告 チームプレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	報告資料を作成してください（4時間）。その内容について次の授業でコメントします。
第16週： グループ学習⑥　レポートの最終チェック 誤字脱字などの最終チェックを行なった上、投稿します。	レポートの最終チェックを行なってください（2時間）。
第17週： 日本の金融システム（講義形式） 日本の金融システムなどについて講義形式で解説します。	授業内容を復習し、練習問題を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。
第18週： グループ学習⑦　業界研究（役割，業務） 金融業界について関連資料を収集し、業界研究を行ないます。	研究成果をまとめたレジュメを作成してください（3時間）。
第19週： グループ学習⑧　業界研究（歴史的沿革，現在・今後の展望） 金融業界について関連資料を収集し、業界研究を行ないます。	研究成果をまとめたレジュメを作成してください（3時間）。
第20週： グループ学習⑨　業界研究（資料作成） 業界研究の成果をまとめた資料を作成します。	報告資料を作成してください（3時間）。その内容について次の授業でコメントします。
第21週： 業界研究報告①　銀行（信用金庫，信託銀行を含む） チームプレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	報告資料を作成してください（2時間）。その内容について次の授業でコメントします。
第22週： 業界研究報告②　証券（投資銀行を含む） チームプレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	報告資料を作成してください（2時間）。その内容について次の授業でコメントします。
第23週： 業界研究報告③　生命保険，損害保険，リース チームプレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	報告資料を作成してください（2時間）。その内容について次の授業でコメントします。
第24週： エントリー・シートの書き方（講義形式） エントリー・シートの書き方などについて講義形式で説明します。	授業内容の復習と配布プリントによる予習を行ってください（1時間）。

第25週： 個人学習 例文を参考に、エントリー・シートを作成します。	各自エントリー・シートを作成してください（2時間）。その内容について次の授業でコメントします。
第26週： エントリー・シート報告① プレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	各自エントリー・シートを作成してください（2時間）。その内容について次の授業でコメントします。
第27週： エントリー・シート報告② プレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	授業内容の復習を行ってください（1時間）。
第28週： 卒業研究① テーマの設定 習得した知識を用いて、各自またはグループで興味あるテーマを探し出します。	報告資料を作成してください（3時間）。その内容について次の授業でコメントします。
第29週： 卒業研究② テーマ報告 プレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	報告資料を作成してください（3時間）。その内容について次の授業でコメントします。
第30週： 総括 各自これまでの活動の内容・成果などについて感想を述べます。	
第31週： 期末試験 実施しません。	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考	進捗状況によって、講義スケジュールが若干変更する可能性があります。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	金融に関する基礎理論などが説明できる。
【知識・理解】	金融に関する基礎理論などを用い、レポートを作成することができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	プレゼンテーションやディスカッションをすることができる。
【思考・判断・創造】	金融という切り口から日本経済が直面する問題を考察することができる。

○成績評価基準（合計100点）	合計欄	100点

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		20点	20点
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	10点
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点	10点

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	プレゼンテーション実施のために作成するレジュメの内容、コンテストに参加するために作成するレポートの内容により加点します。
発表・その他（無形成果）	プレゼンテーション実施のなかで、その内容や質疑応答をし、その解答に対して優れた学生には加点します。